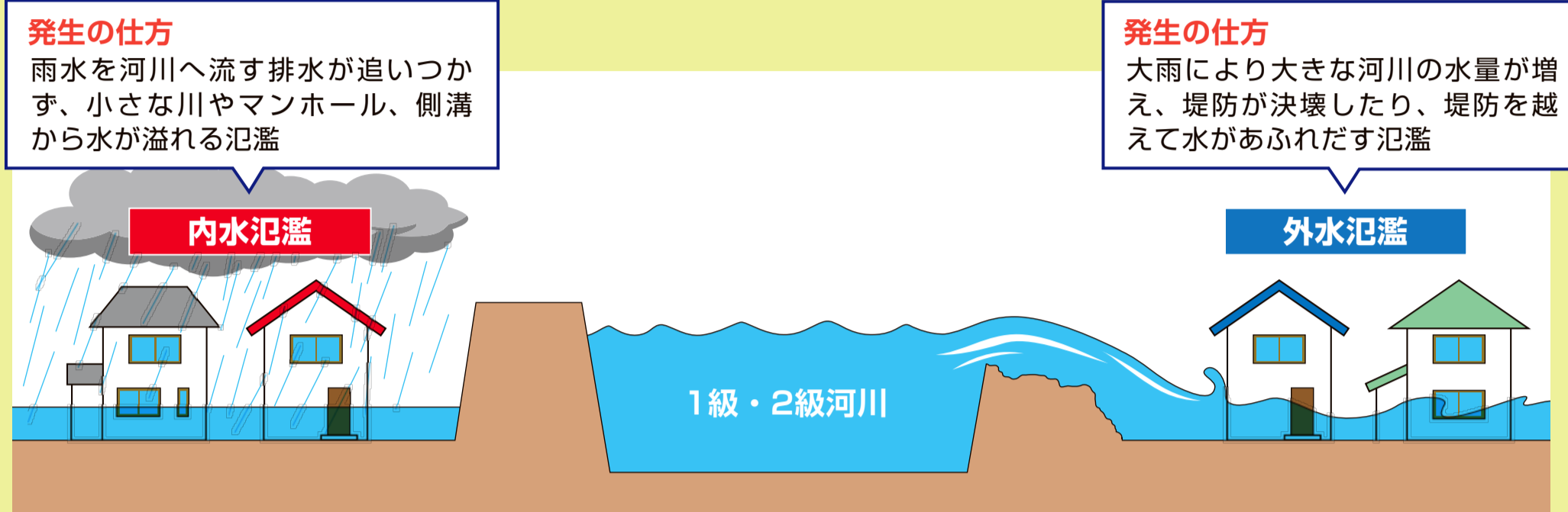


# 姫路市内水ハザードマップ 浸水への心得

## 内水ハザードマップとは ~もし大雨等によって内水氾濫が発生したら~

この内水ハザードマップは、市民のみなさんが、自主的な避難や避難経路の確認などに活用していただけるように、過去に**内水氾濫**が発生した箇所・場所に加えて、避難先(指定緊急避難場所)、情報の入手先などについてまとめたマップです。  
集中豪雨などの大雨時には、河川の氾濫が起こるよりも前に、道路側溝や下水道、水路からだけでは、降った雨を流しきれなくなり、建物や土地・道路が浸水してしまうことがあります。このような氾濫を「**内水(ないすい)氾濫**」と呼びます。



このマップでは、**内水氾濫**に関することは、**XXXX**で示しています。  
なお、この地図には、5色で色分けされた浸水の想定される区域(**河川の氾濫(外水氾濫)**による浸水想定区域)を記載しています。この区域は、国土交通省と兵庫県が、おおむね100年に1回程度起こる大雨が降り、河川が増水して氾濫したと仮定した場合の計算結果に基づくもので、それぞれの場所で最大となる場合を示しています。ただし、浸水の想定される範囲や深さについては、雨の降り方や、河川の改修状況などによって変わることがありますので、ご自身が危険と感じたら、避難に関する情報が発令される前でも、早めの自主的な避難を心掛けてください。

◇この内水ハザードマップの浸水実績箇所は、姫路市が地域に住む住民の方々に、過去の**内水氾濫**が発生した場所の通報があった箇所や聞き取り調査を行った結果に基づき、作成しています。

◇この内水ハザードマップには、国土交通省及び兵庫県が作成した**1級・2級河川からの氾濫(外水氾濫)**も併せて記載しています。

平成29年08月 姫路市

## 避難時の心得

### ◆安全な避難路の確認を

避難所までの経路(避難経路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

### ◆非常持ち出し品の準備を

避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。

### ◆正確な情報収集と浸水前に避難を

ラジオやテレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。  
雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

### ◆避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときには、市や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。  
呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

### ◆避難する前に

避難する前に、電気やガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。  
また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

### ◆車での避難は控え、徒歩で避難を

車での避難は、浸水により動けなくなることがあります。  
避難するときは、徒歩で避難しましょう。また、動きやすい格好で2人以上での避難を心がけましょう。

## お年寄りや体の不自由な方には!!

### ◆一人暮らしのお年寄りなどに気配りを

自分の家族や住まいだけではなく、隣り近所にも目を向けましょう。  
特に、一人暮らしの高齢者など災害時の避難に支援が必要な方には、ふだんからの気配りが大切です。

### ◆お年寄りや体の不自由な方は

お年寄りや体の不自由な方のひとりでの避難は、非常に危険です。日頃から、隣りや地域の方と災害時の連絡方法を決めておきましょう。  
また、いざというときには早めに避難しましょう。

### ◆歩行などが不自由な方の援助

それぞれの人に適した誘導方法を確認しましょう。車椅子の方の避難を援助する場合は、階段では必ず3人以上で協力し、上がる時は前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。

### ◆目や耳の不自由な方の援助

目の不自由な方に話すときは、はっきりゆっくり大きな声で。誘導する場合には肘あたりを軽くふれゆっくり歩きましょう。  
耳の不自由な方に話すときは、近くに寄って口を大きくはっきり動かす。口頭でわからないようであれば筆談をしましょう。

## こんなところが危険

地下道は浸水し始めると水が引きにくく、水没する危険もあるので避難経路に適しません。

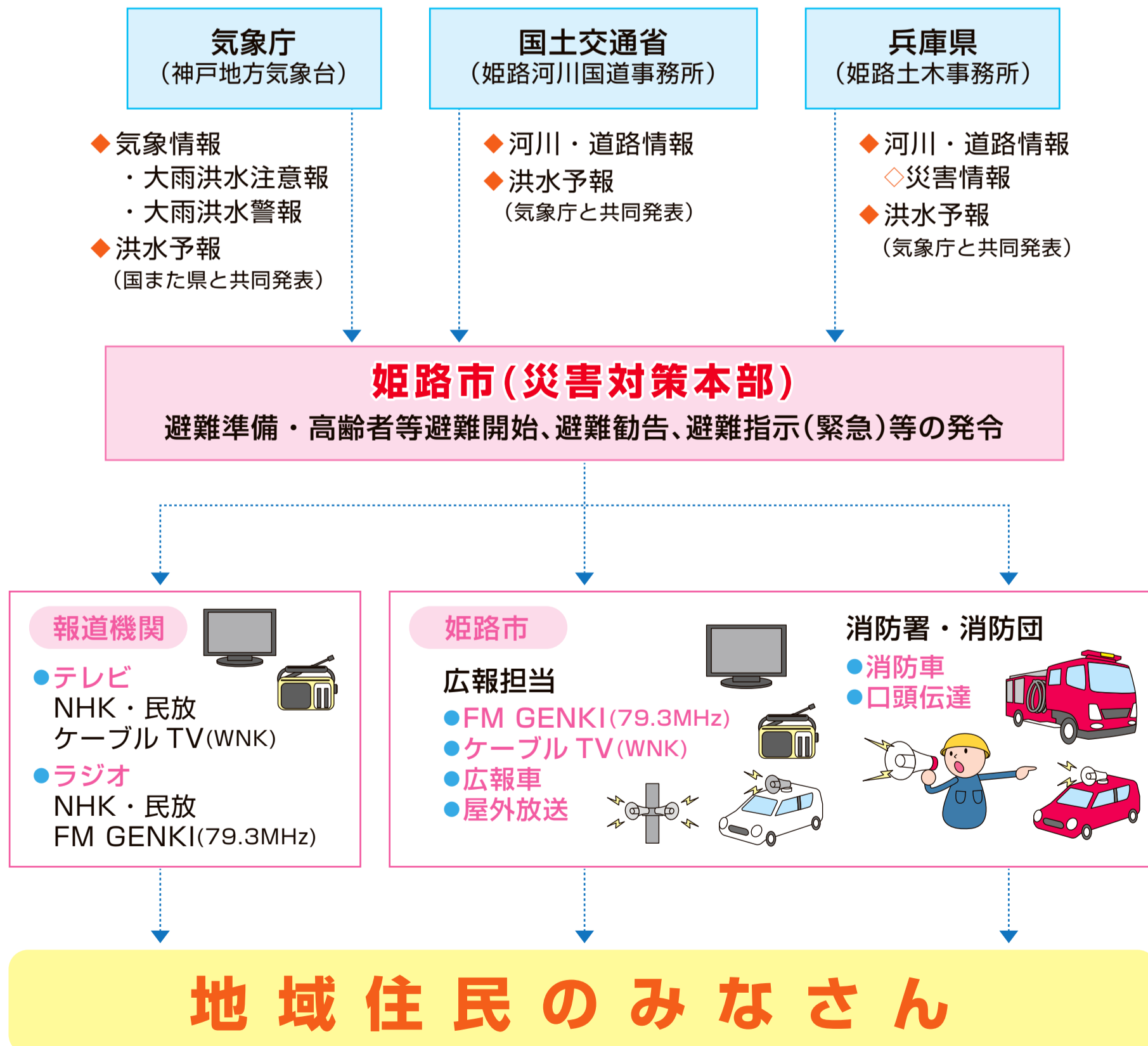
避難時は側溝など普段気に留めない道の凹凸が歩行の妨げになります。

地下室では、浅い浸水深でも水圧でドアは開きません。

地上が冠水すると、一気に水が流れ込んできます。

## 気象情報・避難情報の伝達経路

気象情報・避難情報などは下記の図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。

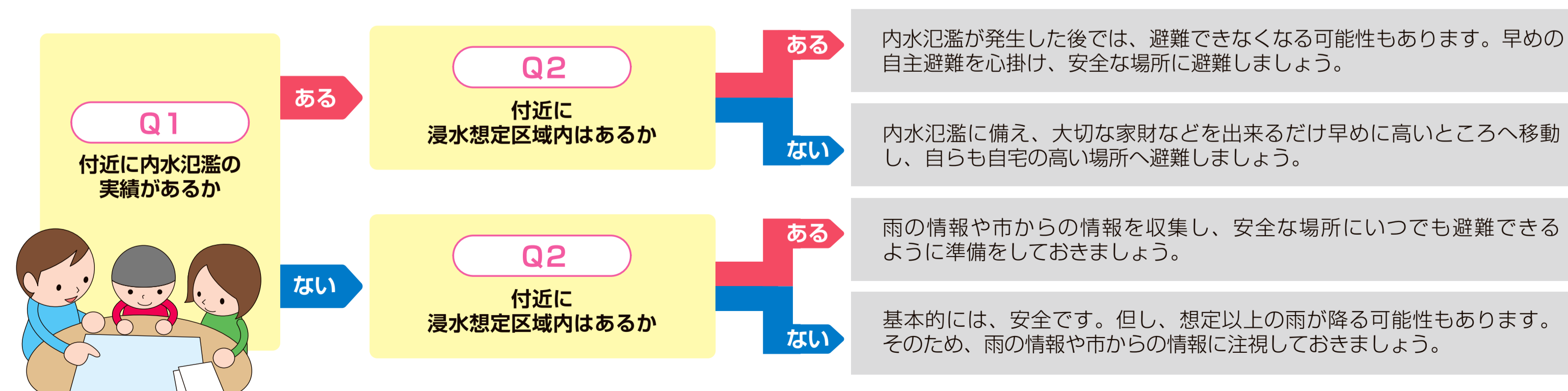


## 発令内容ととるべき行動

避難情報の種類	姫路市からの呼びかけ	みなさんがとるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	ただ今、〇時〇分に〇〇地区に対して避難準備情報を出しました。お年寄りなど避難に時間がかかる方は、直ちに〇〇へ避難してください。その他の方も避難の準備を始めてください。	避難に時間がかかる方は、直ちに避難所へ避難してください。また、早めに避難を開始するか、いつでも避難できるように避難の準備をしておきましょう。
避難勧告	ただ今、〇時〇分に〇〇地区に対して避難勧告を出しました。直ちに〇〇へ避難してください。なお、浸水により、〇〇道は通行できません。	お互いに助け合い、指定された避難所に速やかに避難を始めましょう。自動車などでの避難はやめ、できるだけ徒歩で避難しましょう。
避難指示(緊急)	ただ今、〇時〇分に〇〇地区に対して避難指示を出しました。〇〇川がはん濫危険水位を突破して(〇〇川の堤防の決壊が予想され)大変危険な状況です。避難中の方は直ちに〇〇への避難を完了してください。十分な時間がない方は近くの安全な建物に避難してください。なお、浸水により〇〇道は通行できません。	洪水の危険が迫っていますので、避難中の方は直ちに避難を完了してください。もし避難する余裕がなければ、生命を守る最低限の行動(例えば、未だ避難が完了できず、水が押し寄せて歩くことが危険な場合には、緊急避難的に自宅の2階や近くの高い建物などに直ちに避難する)をとりましょう。

## 大雨時の行動の基本的な目安

以下に、行動の基本的な目安を示しています。  
このマップを活用し、大雨時にどのように行動をとるべきか、家族で考えてみましょう。



**NTT災害用伝言ダイヤル**

**171**

をダイヤルし、ガイダンスにしたがって、録音・再生を行ってください。

30秒間メッセージを録音できます。